

公園の防災機能強化

大枝公園をはじめとする市内の公園では、災害時に一時避難場所(火災発生時に火災などから一時的に身を守る場所として市が指定する公園など)として活用するため、防災設備の整備を進めています。

大枝公園



防災パーゴラ



ヘリポート

土居公園



防災備蓄倉庫



かまどベンチ

民間企業との協定

市では、災害時に備え食料の備蓄などさまざまな取り組みを行っていますが、発災直後の状況では、行政機関だけの活動では対応が困難になる場合もあります。

そのため、災害発生後の迅速な復旧には、民間企業と協働して取り組む必要があります。災害時、民間企業が持つさまざまな資源を活用するため、迅速に対応できるよう協定を締結しています。

令和3年中に締結した協定

社名	協定内容	協定締結日
株式会社 アンダーウッド	水害時における指定緊急避難場所としての使用	3月31日
株式会社 アゴーラ・ホテル マネジメント大阪	火災などの被災者に対する緊急宿泊先確保の協力・連携	4月1日
有限会社 トラックアズマ	災害時における車両の提供	8月1日
株式会社 マツケン	災害時における災害廃棄物収集の支援	8月23日
奥村機械株式会社	災害時におけるレンタル資機材の提供	8月30日
西尾レントオール株式会社	災害時におけるレンタル資機材の提供	10月1日
社会福祉法人守口市社会福祉協議会	災害発生時における指定福祉避難所の開設および運営管理	9月1日
株式会社 オールケア守口	災害発生時における指定福祉避難所の開設および運営管理	9月10日

災害時の避難所開設

大規模災害や水害などの災害に備え、市では小・中学校などの公共施設や民間施設の合計33カ所を避難所に指定しています。

地域防災改革の規定に基づき、震度5弱以上の地震が発生すると、すぐに市職員3人が各避難所に駆け付け、全避難所を開設します。

ハザードマップや市ホームページを確認し、お住まいの近くの避難所を確認しておきましょう。

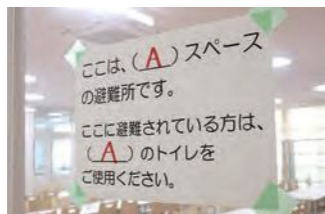
コロナ禍での避難所運営

大規模災害時、37.5度以上の発熱者または陽性者の濃厚接触者で健康観察中の方が避難した場合は、ただちに別室へ避難していただきます。その他、

▽飛沫感染を抑止するため、避難所受付へのビニールカーテンの設置

▽体調不良者の避難スペースを明確に区分するため、立入禁止区域の設置

▽各避難スペースへ消毒用液剤の設置 など、感染防止策を行います。



自主防災組織とは？

「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識に基づいて、自治会や町内会など地域住民が自主的に連携して防災活動を行う組織のことをいいます。

自主防災組織は、全国に約11万団体あり、市内では174団体が活動しています。平常時には、防災訓練や防災資機材の点検などを行っています。

写真のように、防災訓練は自主防災組織だけで行うのではなく、市・日本赤十字社・消防団員などその他さまざまな機関と連携して行うと、とても効果的です。



八雲東地区での訓練

①防災資機材の点検 ②傷病者を担架で運ぶ訓練
③日本赤十字社による炊き出し ④消防団員と一緒に訓練

防災士資格取得を補助します

各自主防災組織で防災の中心的な役割を担っていたため、市内の自主防災組織に所属する人を対象に、防災士の資格取得に要する経費の4分の3(62,000円上限)を補助しています。災害対応や自身の防災意識を高めるため、防災士の資格を積極的に取得しましょう。

詳しくはこちら



防災士とは？

“自助”“共助”“協働”を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人のことです。災害に対する知識や災害時の対応を学び、災害からの被害を最小限にとどめる、地域防災力の担い手として注目されています。

防災士資格取得者の声

祝地区自主防災防犯会
よしかわこうじ
吉川公二さん



自主防災組織で普段どのような活動をしていますか。

日吉公園の地域を中心に、定期的集まりながら主に防災について取り組んでいます。

防災士資格を取得したきっかけを教えてください。

勤め先の会社が阪神・淡路大震災の年に神戸に移転したことをきっかけに、東日本・熊本の震災でも支援活動をしてきて、防災士の資格にはずっと興味がありました。

今回、自主防災組織に加入している人を対象に市の補助金が出るということで、制度を活用し取得しました。

防災士の講座・試験を受けてみていかがでしたか。

講座を受ける中で、災害の仕組みや発生リスク、これまでに起きた災害での被害状況などを学びました。防災士を目指していない人にも知ってもらいたい内容だと感じました。

今後、資格をどのように生かしていきたいですか。

防災士の講座の中で、人口8,300万人のドイツに災害ボランティアが100万人登録されていることを知りました。現在、日本の防災士の資格取得者は約21万人なので、人口比でいくと防災士の資格取得者はもっとおられてもいいのではないのでしょうか。

また、講座や救命講習といった防災士資格を取得するためのプロセスが役に立ちました。防災に関して地域でもいろいろとチャレンジしていきたいです。